



仙厓「恵比寿図」。画賛の和歌は「足る事をし（知）ればこそあれ福の神二疋（匹）鯛釣る恵美須（恵比寿）なければ」。意味は「満足することを知っているからこそ、そうである福をつかさどる神様よ、二匹も鯛を釣り上げる恵比寿はいないのだから」。「老子」の説いた「足るを知るものは富む」という教えを、七福神の恵比寿が一匹の鯛しか釣り上げないということから、いきいきと具体的にしている。これならば、博多の庶民のところに届くだろう。

この絵の魅力は、恵比寿の底抜けの笑顔と釣り上げられてしまった鯛の放心ぶり。また、画賛冒頭の「足る事を」の部分と紐がよじれたように書かれている。これが、釣竿にぐるぐるとからまった釣糸と響き合う。また、画賛末尾の「なければ」の部分の書き方も、釣糸の巻き付き方に呼応する。（小澤 實）

4 の字固め 白崎俊火 涼し 望月とし江  
カート 中村 麻 ひや麦 加納 燕  
猫の死 栗生

特集／「澤」創刊二十四周年記念吟行俳句大会

参加記

青葉強運ほしのまま 中村麻……………22

「会場違います、お客様」 金井登子……………24

ああ松島や 手塚祐子……………25

東日本大震災を越えて仙台に 中山雅弘……………26

牛すちとビール 南 幸佑……………27

大会特選句／事前投句・前日句会・二日目句会……………28

記念吟行俳句大会係分担……………29

参加者芳名……………30

同人会の新体制について……………31

澤俳句鑑賞 292

津川絵理子……………32 森下秋露……………34

創刊二十五周年記念準備委員会の発足のお知らせ並びに基

金のお願……………4

第九回特別作品賞応募案内……………6

澤通信句会のお知らせ……………8

小澤 實 自動改札 十五句……………12

高橋睦郎 季語練習帖 第一七七回……………14

潺湲集 小澤 實選……………16

吾が背に凭れ 角田康輔 産着 小澤たえみ

左右 栗山節子 四畳半 天野正子

ミニカー柄 石田秀子 雷落ちよ 田沼和美

子ガチャ 妹尾題弘 人魚 川上弘美

ルート 天谷信子 風呂敷 椎野順子

濯げよ 根岸哲也 莢押して 結城あき

窓

俳書を読む

中里麦外『庵』／荒井千佐代『黒鍵』／山口昭男『磔』／

仲 寒蟬『全山落葉』／岡田由季『中くらの町』

木内縮太……………36

詩文学芸書を読む

林 哲夫編『喫茶店文学傑作選』 根岸哲也……………38

総合誌俳句鑑賞

「俳句四季」「俳句」各七月号 今朝……………40

俳句結社誌を読む

「椋」令和六年一月号 梶等太郎……………42

定例会の秀句 服部つぐみ……………44

通信句会の秀句 蔵田かをり……………46

仙厓のこと 十八 栗生……………48

潺潺集巻頭作家インタビュー 児玉史湖……………50

澤集巻頭作家エッセイ 山口刃心……………51

追悼／多田たか子

チューリップ 鍋山紀子……………52

俳句を豊かにするもの

三度目の正直 青沼まみ……………53

同人代表句 花岡安佐枝／尾山知枝……………54

同人一句鑑賞 妹尾題弘／豊田・ヌー……………55

澤研……………56

澤四十句 小澤 實選……………58

選後独言 二つ以上の動詞を使う際は 小澤 實……………60

澤集 小澤 實選……………62

信太 蓬／児玉猫只／市川真冬／深井十日／はつねらん

／オオタケシゲヲ／赤岩 覺／池田瑠那／たが啓子／佐

藤涼子／山田渥子／遠藤ちひろ／中川ノエ

消息／新入会員……………94

『澤』一句鑑賞（補遺）／「俳句を豊かにするもの」原稿募集

のお知らせ……………95

第24回定例会9月ご案内／8月号発送報告……………96

澤俳句叢書一覽……………97

雑誌「澤」購読のご案内／購読料更新のお知らせ／

澤基金募集のお願い……………98

澤基金応募者芳名／投句のご案内……………99

澤句会・カルチャー一覽……………100

広告……………101 後記……………106

デザイン／山口信博＋玉井一平

写真／大友洋祐 表紙監修／栗生

澤  
令和6年9月1日発行  
澤 俳句会  
頒価 1,200円